

## 第81回分析化学討論会 研究発表プログラム

- ・この講演プログラム4月23日現在のものです。
- ・口頭発表の講演時間は、主題講演（公募）15分（講演12分、討論3分）、一般講演15分（講演12分、討論3分）、テクノレビュー講演30分（講演25分、討論5分）です。
- ・なお、依頼講演は会場ごとに異なります。
- ・ポスター発表のコアタイムは60分で、以下のようになります。

[5月22日(土)]

午後 産業界R&D紹介ポスター講演（一般公開）

13:00～14:00

若手ポスター① 14:15～15:15

若手ポスター② 15:30～16:30

若手ポスター③ 16:45～17:45

[5月23日(日)]

午後 一般ポスター 13:00～14:00

高校生ポスター（一般公開）14:15～15:15

- ・講演の発表者（登壇者）に○印を付けています。
- ・主題講演の末尾には「R」を、依頼講演の末尾には「S」を、テクノレビュー講演の末尾には「T」を付けています。
- ・ポスター発表の場合には、一般講演ポスター発表は「P」、若手講演ポスター発表は「Y」と明記しています。
- ・なお、産業界R&D紹介ポスター講演の末尾には「S」を、高校生ポスター講演の末尾には「H」を付けています。
- ・産業界R&D紹介ポスター（産業界ポスターと略）と高校生ポスターは一般公開です。
- ・本講演プログラムは講演申込者がオンライン登録したデータをそのまま掲載しています。
- ・会場の都合等で講演プログラムを変更する場合があります。

### 【 A 会 場 】

**【第1日 5月22日】**

座長 西澤 精一

**【依頼講演】** A1001S (9:10～9:40) 呼気オミックスによる新型コロナウイルス感染診断法と未来型医療（東北大医）○赤池 孝章

**【依頼講演】** A1002S (9:40～10:10) ニューノーマルと体外診断薬（日立化成DS）○佐藤 貴哉

A1003R (10:10～10:40) ナフタレンジイミド誘導体によるウイルス4本鎖RNAの検出（九工大院工）○竹中 繁織・佐藤しのぶ・Zou Tingting・安川 瑠依・佐藤 友香・金好 秀馬

座長 火原 彰秀

**【依頼講演】** A1004S (10:50～11:20) アミノ酸分析を起点とした健康課題解決へのデータサイエンスの活用（味の素 バイオ・ファイン研）○今泉 明

**【依頼講演】** A1005S (11:20～11:50) ニューノーマルにおける化学教育への1つのアプローチ（北大院工）○渡慶次 学

**【依頼講演】** A1006S (11:50～12:20) スタートアップ企業と次のニューノーマルな世界を目指す仕事～分析化学を出てスタートアップ投資に従事するまでのキャリア、これまでとこれから～（グローバル・ブレイン株式会社）○皆川 朋子

座長 福山 真央

**【依頼講演】** A1007S (13:40～14:10) 多元混合化学情報を分析可能とするセンサの設計と開発（東大生研）○南 豪

**【依頼講演】** A1008S (14:10～14:40) Labviewを使った走査型プローブ顕微鏡用プログラムの開発と応用（金沢大学NanoL-SI）○高橋 康史

A1009R (14:40～14:55) フロー法を用いたエステル加水分解反応の自動制御・測定・解析（産総研<sup>1</sup>・中央大理工<sup>2</sup>）○竹林 良浩<sup>1</sup>・陶 究<sup>1</sup>・君島 史峻<sup>2</sup>・船造 俊孝<sup>2</sup>

**【依頼講演】** A1010S (14:55～15:25) 構造生物学における測定・解析の自動化とマイクロデバイスの応用（北大院・工<sup>1</sup>・理研・SPring-8センター<sup>2</sup>）○真栄城 正寿<sup>1,2</sup>

**【依頼講演】** A1011S (15:35～16:05) 多変量解析ソフトウェアを利用したバイオ分析データのビジュアル化入門（産総研健康医工学）○富田 峻介

A1012R (16:05～16:20) マイクロコントローラーを利用した簡易分析装置の開発と開発言語ProcessingによるPC用アプリケーションの作成（金沢工大バイオ・化学<sup>1</sup>・岡山大インキュベーション<sup>2</sup>）○鈴木 保任<sup>1</sup>・本水 昌二<sup>2</sup>・大嶋 俊一<sup>1</sup>・坂本 宗明<sup>1</sup>・藤永 薫<sup>1</sup>

**【依頼講演】** A1013S (16:20～16:50) 尿中miRNAをバイオマーカーとしたがんの早期診断～実用化に向けた解析プラットフォームの構築～（Craif株式会社<sup>1</sup>・名古屋大学 未来社会創造機構<sup>2</sup>）○市川 裕樹<sup>1,2</sup>

**【第2日 5月23日】**

座長 大江 知行

**【依頼講演】** A2001S (9:10～9:50) 質量分析機器を用いたDNA付加体の網羅的解析手法（DNAアダクトーム）の現状と将来展望（国立がん研究センター研究所）○戸塚 ゆ加里

**【依頼講演】** A2002S (9:50～10:30) 酸化リポタンパク質のアダクトーム解析（名大院生命農<sup>1</sup>・東大院農学生命<sup>2</sup>）○柴田 貴広<sup>1</sup>・内田 浩二<sup>2</sup>

**【依頼講演】** A2003S (10:30～11:10) MetabolomicsからExposomicsへの潮流：exposomeにおけるmetabolomeの位置づけと課題（名古屋大高等研究院<sup>1</sup>・名古屋大医学系研究科<sup>2</sup>・島津製作所<sup>3</sup>・東京女子医大脳神経外科<sup>4</sup>・産業技術総合研究所<sup>5</sup>）○財津 桂<sup>1,2</sup>・林 由美<sup>1,2</sup>・村田 匡<sup>3</sup>・江口 盛一郎<sup>4</sup>・井口 亮<sup>5</sup>

**【依頼講演】** A2004S (11:10～11:50) 環境中親電子物質エクスポソームの研究戦略（筑波大医）○熊谷 嘉人

座長 高貝 慶隆

**【依頼講演】** A2005S (13:40～14:20) 福島第一廃炉への取り組みと分析化学（原賠廃炉機構）○山名 元

**【依頼講演】** A2006S (14:20～15:00) 高速同位体分析によるナノ粒子・微粒子の起源同定分析（東大理）○平田 岳史

**【依頼講演】** A2007S (15:10～15:50) アクチノイドイオン分析への電気泳動法の適用（埼玉大院理工<sup>1</sup>・原子力機構<sup>2</sup>）○齋藤 伸吾<sup>1</sup>・原賀 智子<sup>2</sup>

**【依頼講演】** A2008S (15:50～16:30) 炉内デブリのその場スクリーニングをめざしたレーザー遠隔分析（原子力機構<sup>1</sup>・量研機構<sup>2</sup>・分子研<sup>3</sup>・アイラボ<sup>4</sup>）○若井田 育夫<sup>1</sup>・大場 弘則<sup>1,2</sup>・平等 拓範<sup>3</sup>・池田 裕二<sup>4</sup>

A2009R (16:30～16:45) 原子力災害時に資する飲料水中の迅速ストロンチウム-90測定法の確立（弘大被ばく研<sup>1</sup>・弘大保健<sup>2</sup>）○田副 博文<sup>1</sup>・富坂 侑斗<sup>2</sup>・赤田 尚史<sup>1</sup>・細田 正洋<sup>2</sup>・床次 真司<sup>1</sup>

## 【 B 会 場 】

### 【第1日 5月22日】

座長 中里 哲也

B1001 (9:00～9:15) 分散微粒子抽出法 (5) - 過マンガン酸イオンの微粒子への吸着を利用するオンサイトCOD測定法の開発 - (富山大学院理工(理)<sup>1</sup>・明治大学理工<sup>2</sup>) ○川畑 美佳<sup>1</sup>・小瀨 望<sup>1</sup>・岡崎 琢也<sup>2</sup>・佐澤 和人<sup>1</sup>・波多 宣子<sup>1</sup>・倉光 英樹<sup>1</sup>・田口 茂<sup>1</sup>

B1002 (9:15～9:30) 色素染色による建材表面の石綿顕微分析法 (佐賀大理工) ○田端 正明

B1003 (9:30～9:45) 水俣市化学工場周辺土壌中の水銀化学形と有機物含有量 (鹿児島大院理工) ○下鶴 優美・児玉谷 仁・神崎 亮・富安 卓滋

B1004 (9:45～10:00) 同位体希釈-ICP質量分析法を用いた外洋海中の白金分析 (金沢大理工<sup>1</sup>・東大海研<sup>2</sup>) ○眞塩 麻彩実<sup>1</sup>・三浦 暖加<sup>1</sup>・小畑 元<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>1</sup>

B1005 (10:00～10:15) エレクトロスプレーイオン化-イオンモビリティ質量分析法とケンドリックマスマスディフェクト法を用いた3元系コポリマー解析 (名工大理工<sup>1</sup>・三菱ケミカル<sup>2</sup>) ○尾関 優香<sup>1</sup>・北川 慎也<sup>1</sup>・大谷 肇<sup>1</sup>・近藤 洋輔<sup>2</sup>・品田 弘子<sup>2</sup>

座長 勝又 英之

B1006 (10:30～10:45) 異なる溶媒で作製したイオン選択性電極膜の核磁気緩和時間をを用いる可塑性評価 (阪工大工<sup>1</sup>・兵庫大院工<sup>2</sup>) 森内 隆代<sup>1</sup>・関口 ゆりあ<sup>1</sup>・浦濱 圭彬<sup>2</sup>

B1007 (10:45～11:00) <sup>29</sup>Si-NMRと近赤外拡散反射を用いた有機修飾シリカ粒子の表面被覆率分析 (ADMAT/積水化成品<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>) 景山 大地<sup>1</sup>・竹林 良浩<sup>2</sup>・永島 裕樹<sup>2</sup>・今 喜裕<sup>2</sup>・依田 智<sup>2</sup>

B1008 (11:00～11:15) 微量なアルミを含む鉄基高合金表面に形成される酸化物薄膜の分析評価 (東北大学多元物質科学研究所<sup>1</sup>・東北大学マイクロシステム融合研究センター<sup>2</sup>・東北特殊鋼<sup>3</sup>) ○粕谷 素洋<sup>1</sup>・浦川 潔<sup>3</sup>・佐藤 武信<sup>3</sup>・江幡 貴司<sup>3</sup>・鈴木 茂<sup>2</sup>

B1009 (11:15～11:30) 燃焼-イオンクロマト法による石灰中フッ素の定量 (高知工セ) ○隅田 隆・八幡 美和子・堀川 晃玄・竹家 均・伊吹 哲

B1010 (11:30～11:45) シアノバクテリア捕捉基板の電気化学特性 (阪府大院工<sup>1</sup>・阪府大院理<sup>2</sup>・阪府大LAC-SYS研<sup>3</sup>・千歳科技大<sup>4</sup>) ○石倉 諒汰<sup>1,3</sup>・林 康太<sup>2,3</sup>・田村 守<sup>2,3</sup>・Olaf Karthaus<sup>4</sup>・飯田 琢也<sup>2,3</sup>・床波 志保<sup>1,3</sup>

座長 壹岐 伸彦

【依頼講演】 B1011S (13:40～14:20) 環境と調和するプラスチックの好循環を考える (東北大院環境) ○吉岡 敏明

【依頼講演】 B1012S (14:20～15:00) 下水疫学と新型コロナウイルス感染症 (東北大学) ○佐野 大輔

【依頼講演】 B1013S (15:00～15:40) 金属ナノ粒子がもたらす新しい計測技術 (阪府大院工) ○椎木 弘

【依頼講演】 B1014S (15:40～16:20) 海洋の持続可能性を微量金属で調べる (京大化研) ○宗林 由樹

B1015R (16:45～17:00) ナノ空間に同居したニッケルと銅イオンのシナジーによる選択的アンモニア窒素変換 (山口大学院創成科学科<sup>1</sup>・ブルーエナジーセンター<sup>2</sup>) ○湯原 良基<sup>1</sup>・名木田 賢治<sup>1</sup>・中山 雅晴<sup>1,2</sup>・片山 祐<sup>1,2</sup>

B1016R (17:00～17:15) ナノ空間に孤立した銀イオンの *in situ*還元による銀粒子形成とその酸素還元触媒能 (山口大院創成科学<sup>1</sup>・ブルーエナジーセンター<sup>2</sup>) ○清水 智仁<sup>1</sup>・丸川 竜一<sup>1</sup>・片山 祐<sup>1</sup>・中山 雅晴<sup>1,2</sup>

B1017R (17:15～17:30) 同軸光ファイバーケーブルを搭載した反射型比色計を用いる高感度な固相比色分析 (徳島大院理工<sup>1</sup>・Universitas Gadjah Mada<sup>2</sup>・ウシオ電機<sup>3</sup>・金沢工大バイオ化学<sup>4</sup>) ○水口 仁志<sup>1</sup>・谷口 友亮<sup>1</sup>・Suherman SUHERMAN<sup>2</sup>・森田 金市<sup>3</sup>・高柳 俊夫<sup>1</sup>・鈴木 保任<sup>4</sup>

B1018R (17:30～17:45) 気液界面修飾型薬物捕捉場の創成と持続可能な排水処理技術および物質精製技術への適用 (北見工大工) ○齋藤 徹・児玉 康輝<sup>1</sup>・大岩 真子

### 【第2日 5月23日】

座長 遠藤 昌敏

【依頼講演】 B2001S (9:10～9:40) 分析化学の研究の傍ら起業してみました (群馬大院理工<sup>1</sup>・グッドアイ<sup>2</sup>) ○板橋 英之<sup>1,2</sup>

【依頼講演】 B2002S (9:40～10:10) 製鉄プロセスを下支えする湿式化学分析 (宇都宮大工) ○上原 伸夫

【依頼講演】 B2003S (10:10～10:40) 日産化学における物質解析研究への取り組み (日産化学) ○近間 克己

【依頼講演】 B2004S (10:40～11:10) 微量元素分析における最近の進歩と現場事情 (アジレント・テクノロジー) ○鹿籠 康行

B2005R (11:10～11:25) 環境配慮型吸着剤を用いた貴金属イオンの新しい分離回収技術 (金沢大理工<sup>1</sup>・金沢大院自然<sup>2</sup>) ○長谷川 浩<sup>1</sup>・Foni Bushion Biswas<sup>2</sup>・武隈 基浩<sup>2</sup>・中窪 圭佑<sup>2</sup>・眞塩 麻彩実<sup>1</sup>・谷口 剛史<sup>1</sup>・西村 達也<sup>1</sup>・前田 勝浩<sup>1</sup>

B2006R (11:25～11:40) よろず相談「分析NEXT」:産学官公共創型課題解決支援の展開 (九州先端研) ○山田 淳・吉原 大輔・一丸 恵子・王 胖胖・山本 竜広・川畑 明

## 【 C 会 場 】

### 【第1日 5月22日】

座長 牧 秀志

C1001 (9:00～9:15) はんだ中における元素成分の均質性に関する検証 (産総研物質計測標準) ○朱 彦北

C1002 (9:15～9:30) 高選択性樹脂を用いた主成分分離によるマグネシウム合金中極微量水銀の定量 (明星大院理工) ○上本 道久・谷 直哉

C1003 (9:30～9:45) ICP発光・質量分析計を利用した単一細胞元素分析に向けた試料導入アブレーション装置の開発 (東京薬大生命<sup>1</sup>・名大院工<sup>2</sup>・東工大未来研<sup>3</sup>) ○青木 元秀<sup>1</sup>・川口 航平<sup>1</sup>・東 慶紀<sup>1</sup>・三浦 僚介<sup>1</sup>・前本 佑樹<sup>1</sup>・伊藤 昭博<sup>1</sup>・安井 隆雄<sup>2</sup>・沖野 晃俊<sup>3</sup>・梅村 知也<sup>1</sup>

C1004 (9:45～10:00) HPLC-ICP-MSによる河川水中ガドリニウムの化学形態分析 (関学大理工<sup>1</sup>・理研SPRING-8セ<sup>2</sup>・産総研計量標準<sup>3</sup>) ○岡林 識起<sup>1</sup>・河根 怜央奈<sup>1</sup>・亀本 雄基<sup>1</sup>・岩井 貴弘<sup>2</sup>・成川 知弘<sup>3</sup>・壺井 基裕<sup>1</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>

C1005 (10:00～10:15) 化学分析及び蛍光X線法によるガラス中のイオウの価数分析 (AGC<sup>1</sup>・京都大学<sup>2</sup>) ○西條 佳孝<sup>1,2</sup>・鈴木 祐一<sup>1</sup>・秋山 良司<sup>1</sup>・清水 雅弘<sup>2</sup>・下間 靖彦<sup>2</sup>・三浦 清貴<sup>2</sup>

C1006T (10:15 ~ 10:45) リアクションセルを搭載したNu Instruments の TOF-ICP-MS "Vitesse" によるナノ粒子の元素組成分析および高速元素イメージング分析のご紹介 (Nu Instruments<sup>1</sup>・アメテック<sup>2</sup>・日立ハイテクサイエンス<sup>3</sup>) Phil Shaw<sup>1</sup>・Lukas Schlatt<sup>1</sup>・○高橋 隆子<sup>2</sup>・並木 健二<sup>3</sup>

座長 上本 道久

C1007 (10:45 ~ 11:00) 講演中止

C1008 (11:00 ~ 11:15) 高精度全反射蛍光X線微量分析に向けた凍結乾燥法による薄膜様乾燥痕の作製 (阪市大院工<sup>1</sup>・阪市大工<sup>2</sup>) ○松山 嗣史<sup>1</sup>・田中 悠大<sup>2</sup>・中江 理紀<sup>2</sup>・辻 幸一<sup>1</sup>

C1009 (11:15 ~ 11:30) 大気中浮遊粒子を捕集した不織布マスクの全反射蛍光X線分析 (阪市大院工) ○山口 浩輝・松山 嗣史・辻 幸一

C1010 (11:30 ~ 11:45) 斜入射蛍光X線分析法によるエアロゾルの微量無機元素分析 (リガク<sup>1</sup>・紀本電子工業<sup>2</sup>・阪市大院工<sup>3</sup>) ○高原 晃里<sup>1</sup>・森川 敦史<sup>1</sup>・北山 紗織<sup>2</sup>・松山 嗣史<sup>3</sup>・辻 幸一<sup>3</sup>

C1011 (11:45 ~ 12:00) 純鉄中の水素関与欠陥検出のための *in situ* 陽電子消滅測定 (千葉大院工) ○藤浪 真紀・遠藤 悠祐・Chiari, Luca

座長 藤森 啓一

C1012 (13:30 ~ 13:45) 反射型赤外イメージングによる魚類ウロコの状態分析 (医科歯科大教養<sup>1</sup>・パーキンエルマージャパン<sup>2</sup>) ○奈良 雅之<sup>1</sup>・丸山 雄介<sup>1</sup>・服部 淳彦<sup>1</sup>・新居田 恭弘<sup>2</sup>

C1013 (13:45 ~ 14:00) 反復延伸行為による毛髪内部の構造変化解析 (クラシエホームプロダクツビューティケア研<sup>1</sup>・阪電通大工<sup>2</sup>) ○布施 直也<sup>1</sup>・松江 由香子<sup>1</sup>・森田 成昭<sup>2</sup>

C1014 (14:00 ~ 14:15) 近赤外分光法を用いたペプチド合成過程におけるアミド結合数定量評価手法の開発 (島大生資<sup>1</sup>・榊横河電機<sup>2</sup>・関学理工<sup>3</sup>) ○石垣 美歌<sup>1</sup>・辻 紗菜<sup>1</sup>・伊東 篤志<sup>2</sup>・原理 紗<sup>2</sup>・宮崎 俊一<sup>2</sup>・村山 広大<sup>2</sup>・吉清 恵介<sup>1</sup>・山本 達之<sup>1</sup>・尾崎 幸洋<sup>3</sup>

C1015 (14:15 ~ 14:30) 凍結による銀ナノ粒子の凝集制御とラマン分光の高感度化 (東工大理学院) ○福永 悠・原田 誠・岡田 哲男

座長 奈良 雅之

C1016 (14:45 ~ 15:00) 波長選択検出による増感化学発光を利用したトラゾドン分析の高感度化 (阪工大工) ○藤森 啓一・岡田 朝宏・細川 和輝・坂田 優太・森内 隆代

C1017 (15:00 ~ 15:15) 配向ポルフィリン薄膜の重ね合わせにより生じる円二色性 (高エネ研<sup>1</sup>・阪大INSD<sup>2</sup>) ○武智 英明<sup>1</sup>・渡會 仁<sup>2</sup>

C1018 (15:15 ~ 15:30) 光熱変換光回折検出法を利用したサブ100nm流路におけるFL試料の分離分析 (東大院工<sup>1</sup>・東大NMfD機構<sup>2</sup>) ○津山 慶之<sup>1</sup>・森川 響二郎<sup>2</sup>・馬渡 和真<sup>1</sup>

C1019 (15:30 ~ 15:45) 定量NMRによる三価金属イオンのイオン対生成挙動の評価 (神戸大環境保全推進センター<sup>1</sup>・神戸大院工<sup>2</sup>・神戸大工<sup>3</sup>・ヤゲヴォ大<sup>4</sup>) ○牧 秀志<sup>1,2</sup>・長谷川 茜<sup>3</sup>・藤本 健太<sup>3</sup>・水畑 穰<sup>2,4</sup>

## 【第2日 5月23日】

座長 床波 志保

C2001 (9:00 ~ 9:15) CdSe量子ドット修飾電極におけるカソード電極電気化学発光の挙動と応用 (信州大院理工<sup>1</sup>・信州大理<sup>2</sup>) ○西尾 育真<sup>1</sup>・Zhang, Qiran<sup>1</sup>・岡田 正大<sup>2</sup>・高橋 史樹<sup>2</sup>・金 継業<sup>2</sup>

C2002 (9:15 ~ 9:30) 共存イオンの分配を考慮した脂質二分子膜イオン透過理論 (京工織大院工芸科学) ○大松 照政・堀 貴翔・石田 尚人・前田 耕治・吉田 裕美

C2003 (9:30 ~ 9:45) 全固体型イオンセンサーに適した内部電極 (京工織大院工芸科学<sup>1</sup>・シスメックス<sup>2</sup>) 日下部 瑛美<sup>1</sup>・小島 順子<sup>1,2</sup>・高見 恵生<sup>1</sup>・前田 耕治<sup>1</sup>・○吉田 裕美<sup>1</sup>

C2004 (9:45 ~ 10:00) サイクリックボルタンメトリーを用いた抗酸化物質のABTSラジカル消去反応の解析 (神戸大院海事科学<sup>1</sup>・神戸大海事科学<sup>2</sup>・神戸大院理<sup>3</sup>) ○松本 健嗣<sup>1</sup>・谷嵐 正之<sup>2</sup>・堀田 弘樹<sup>1,2</sup>・山口 里子<sup>2</sup>・大塚 利行<sup>3</sup>

座長 吉田 裕美

C2005 (10:15 ~ 10:30) シクロデキストリン修飾ポリフルオレンを化学センサーとして用いるペプチドセンシング (東工大理<sup>1</sup>・JST-さきがけ<sup>2</sup>) ○西 玲哉<sup>1</sup>・福原 学<sup>1,2</sup>

C2006 (10:30 ~ 10:45) 静水圧で動的制御可能な蛍光フォルダマーによるアニオンセンシング (東工大理<sup>1</sup>・立命館大生命科学<sup>2</sup>・JST-さきがけ<sup>3</sup>) ○木下 智和<sup>1</sup>・羽毛田 洋平<sup>2</sup>・前田 大光<sup>2</sup>・福原 学<sup>1,3</sup>

C2007 (10:45 ~ 11:00) Fluorescent Chemosensor Array on Paper: 384 Microwell-based Imaging Analysis for On-site Detection (IIS, Univ. of Tokyo) ○Xiaojun Lyu・Tsuyoshi Minami

C2008 (11:00 ~ 11:15) Investigation of a Bipolar Electrode-based Liquid Junction-free Sensor for Simultaneous Sensing of Metabolites (東北大院環境<sup>1</sup>・山梨大工<sup>2</sup>・東北大院工<sup>3</sup>・東北大産連<sup>4</sup>) ○Siti Masturah Fakhruddin<sup>1</sup>・井上 (安田) 久美<sup>1,2</sup>・池川 未歩<sup>1</sup>・珠玖 仁<sup>3</sup>・末永 智一<sup>4</sup>

座長 福原 学

C2009 (11:30 ~ 11:45) 抗体修飾ハニカム基板による迅速細菌検出法の開発 (阪府大院工<sup>1</sup>・阪府大院理<sup>2</sup>・阪府大LAC-SYS研<sup>3</sup>・千歳科技大<sup>4</sup>) ○渡邊 翔太<sup>1,3</sup>・本田 杏奈<sup>1,3</sup>・林 康太<sup>2,3</sup>・田村 守<sup>2,3</sup>・Olaf Karthaus<sup>4</sup>・飯田 琢也<sup>2,3</sup>・床波 志保<sup>1,3</sup>

C2010 (11:45 ~ 12:00) 経皮ガス成分のバイオ蛍光法による時空間イメージング計測 (医科歯科大生材研) 飯谷 健太・當麻 浩司・荒川 貴博・○三林 浩二

C2011 (12:00 ~ 12:15) ダニアレルゲンDer f1の高感度かつ繰り返し計測を可能とするSAW免疫センサ (医科歯科大<sup>1</sup>・日本無線<sup>2</sup>) ○金 志壕<sup>1</sup>・三木 大輔<sup>1</sup>・吉村 直之<sup>2</sup>・當麻 浩司<sup>1</sup>・荒川 貴博<sup>1</sup>・谷津田 博美<sup>2</sup>・三林 浩二<sup>1</sup>

C2012 (12:15 ~ 12:30) 高感度なバイオ蛍光式ガスセンサの開発および経皮エタノールガス計測応用 (医科歯科大) ○市川 勇太・鈴木 卓磨・當麻 浩司・荒川 貴博・三林 浩二

C2013 (12:30 ~ 12:45) 次亜塩素酸消毒液の濃度を色調および表示形状の変化により測定できるセンサーの開発 (北見工大<sup>1</sup>・北見工大院<sup>2</sup>) ○兼清 泰正<sup>1,2</sup>・加藤 匠<sup>1</sup>・及川 勝太<sup>1</sup>・三谷 裕<sup>2</sup>・三島木 葉月<sup>1</sup>

座長 佐藤 しのぶ

C2014 (13:30 ~ 13:45) 担子菌類の菌糸体に関する薬理効果 (神奈川工科大(工)) ○川上 翔平

C2015 (13:45 ~ 14:00) 先鋭化ガラスキャピラリイ先端における電気動力学現象へのキャピラリ内外の塩濃度の影響 (兵庫県大院物質) ○末澤 直之・鈴木 雅登・安川 智之

C2016 (14:00 ~ 14:15) ナノボウル基板による生物学的ナノ粒子の光濃縮定量評価法の開発 (大阪府大院理<sup>1</sup>・大阪府大LAC-SYS研<sup>2</sup>・大阪府大院工<sup>3</sup>) ○叶田 雅俊<sup>1,2,3</sup>・渡邊 翔太<sup>2,3</sup>・藤原 佳奈<sup>1,2,3</sup>・林 康太<sup>1,2,3</sup>・田村 守<sup>1,2</sup>・床波 志保<sup>2,3</sup>・飯田 琢也<sup>1,2</sup>

C2017 (14:15 ~ 14:30) シングルドメイン抗体を用いた非競合蛍光偏光免疫アッセイ (東北大<sup>1</sup>・北大<sup>2</sup>・Tianma Japan株式会社<sup>3</sup>) ○福山 真央<sup>1</sup>・中村 彩乃<sup>2</sup>・西山 慶音<sup>2</sup>・今井 阿由子<sup>3</sup>・渡慶次 学<sup>2</sup>・重村 幸治<sup>3</sup>・火原 彰秀<sup>1</sup>

座長 森 健

C2018 (14:45 ~ 15:00) 電気化学的テロメラーゼ検出試薬の開発 (九工大院工) ○金好 秀馬・Zou Tingting・佐藤 しのぶ・竹中 繁織

C2019 (15:00 ~ 15:15) マイクロペルオキシダーゼ/パニロイドレセプターハイブリッド15量体ペプチド酵素の化学合成とペルオキシダーゼ反応の基礎検討 (九大院工) ○中野 幸二・木下 美里・姫野 俊基・石松 亮一

C2020 (15:15 ~ 15:30) 細胞外小胞を標的としたペプチドプローブの設計と機能評価 (東北大院理<sup>1</sup>・JST, PRESTO<sup>2</sup>) ○佐藤 雄介<sup>1,2</sup>

C2021 (15:30 ~ 15:45) 幹細胞精製を目的とした温度応答性細胞分離カラムの開発 (慶大薬) ○長瀬 健一・枝常 吾郎・山田 創太・金澤 秀子

座長 佐藤 雄介

C2022 (16:00 ~ 16:15) 細胞上の複数種タンパク質の同時多色蛍光検出を可能にする酵素増感法 (九大院工<sup>1</sup>・九大シス生<sup>2</sup>・九大分子CMS<sup>3</sup>・九大未来化セ<sup>4</sup>) ○金子 諒右<sup>1</sup>・織田 剛史<sup>2</sup>・吉田 良祐<sup>2</sup>・立石 宙也<sup>2</sup>・岸村 顕広<sup>1,2,3</sup>・森 健<sup>1,2,4</sup>・片山 佳樹<sup>1,2,3,4</sup>

C2023 (16:15 ~ 16:30) Optical modulation of insulin signalling by optogenetic system in living mice liver. (東京大学大学院理学系研究科化学専攻) ○Qi Dong・遠藤 瑞己・Bryan Subong・小澤 岳昌

C2024 (16:30 ~ 16:45) 生体内イメージングを用いた腫瘍内マウス免疫細胞の網羅的動態解析 (東大理) ○上田 善文・小澤 岳昌

C2025 (16:45 ~ 17:00) 核膜選択的な蛍光ラベル化技術における核移行シグナルの機能に関する検証 (九工大院情報工) 荒木 優花・深川 凌平・都田 菜摘・○末田 慎二

## 【 D 会 場 】

【第1日 5月22日】

座長 勝田 正一

D1001 (9:00 ~ 9:15) 金ナノ粒子複合体を用いた電気化学的細菌検出センサーの開発 (上智大理工) ○橋本 剛・北本 千紘・早下 隆士

D1002 (9:15 ~ 9:30) 2種の2級アミド化合物を用いたガリウムの選択的抽出と抽出機構の解明 (佐賀大理工) ○大渡 啓介・Pang, Gehui・森貞 真太郎・川喜田 英孝

D1003 (9:30 ~ 9:45) 逆相液体クロマトグラフィーによるクラウンエーテルとアルカリ金属イオンとの包接反応の速度論的解析 (立教大理) ○宮部 寛志・新井 亜矢香

D1004 (9:45 ~ 10:00) 正極不溶型リチウム-硫黄電池の正極活性物質の反応経路 (新潟大院自然<sup>1</sup>・東京理科大理工<sup>2</sup>・物材機構<sup>3</sup>・工学院大先進工<sup>4</sup>・産総研<sup>5</sup>・横浜国立大院工<sup>6</sup>) ○川名 結衣<sup>1</sup>・荒井 奈々<sup>1</sup>・渡辺 日香里<sup>2</sup>・韓 智海<sup>1</sup>・西川 慶<sup>3</sup>・関 史郎<sup>4</sup>・都築 誠二<sup>5</sup>・上野 和英<sup>6</sup>・獨古 薫<sup>6</sup>・渡邊 正義<sup>6</sup>・梅林 泰宏<sup>1</sup>

D1005 (10:00 ~ 10:15) イオン液体を溶媒とするNaイオン電池用電解液中における多分岐高分子のゲル化反応メカニズム (山口大院創成) ○大杉 菜由・藤井 健太

座長 神崎 亮

D1006 (10:30 ~ 10:45) ラマン散乱とX線回折による硫酸マグネシウム水溶液液滴の濃縮及び結晶化過程のその場観測 (福岡大理<sup>1</sup>・広島大院理<sup>2</sup>・JASRI<sup>3</sup>) ○松尾 俊一郎<sup>1</sup>・中里 駿太郎<sup>1</sup>・秦 菜月<sup>1</sup>・山口 敏男<sup>1</sup>・吉田 亨次<sup>1</sup>・栗崎 敏<sup>1</sup>・石坂 昌司<sup>2</sup>・尾原 幸治<sup>3</sup>

D1007 (10:45 ~ 11:00) 小角中性子散乱およびNMR法によるイオン液体-1,4-ジオキサンの相分離機構の解明 (佐賀大院工<sup>1</sup>・同志社大生命医<sup>2</sup>・熊本高専<sup>3</sup>・総合科学研究機構<sup>4</sup>・佐賀大理工<sup>5</sup>) ○河野 雅大<sup>1</sup>・貞包 浩一朗<sup>2</sup>・松上 優<sup>3</sup>・岩瀬 裕希<sup>4</sup>・高 椋 利幸<sup>5</sup>

D1008 (11:00 ~ 11:15) グライム系電解液中のアルミニウムイオンの溶媒和構造: 分子軌道計算によるアプローチ (新潟大学<sup>1</sup>・山口大学<sup>2</sup>・京都大学<sup>3</sup>) ○韓 智海<sup>1</sup>・弓削 真子<sup>1</sup>・川名 結衣<sup>1</sup>・藤井 健太<sup>2</sup>・北田 敦<sup>3</sup>・邑瀬 邦明<sup>3</sup>・梅林 泰宏<sup>1</sup>

D1009 (11:15 ~ 11:30) Structure of an aqueous RbCl solution in the gigapascal pressure range by neutron diffraction combined with empirical potential structure refinement modeling (CAS<sup>1</sup>・Fukuoka Univ.<sup>2</sup>・JAEA<sup>3</sup>・CROSS<sup>4</sup>) W.Q. Zhang<sup>1</sup>・○Toshio Yamaguchi<sup>2</sup>・Y.Q. Zhou<sup>1</sup>・Koji Yoshida<sup>2</sup>・F.Y. Zhu<sup>1</sup>・C.H. Fang<sup>1</sup>・W. Li<sup>1</sup>・T. Hattori<sup>3</sup>・S. Machida<sup>4</sup>

座長 森田 成昭

D1010 (11:45 ~ 12:00) データサイエンスを利用した複雑な化学構造を有する樹脂添加剤のキャラクタリゼーション法 (旭化成(株) 坂部 輝御・○半村 和基・夏目 穰

D1011 (12:00 ~ 12:15) 時間分解位相差顕微画像のクラスタリングによる光触媒材料のキャリヤ応答マッピング (中大理工) ○片山 建二・海老原 誠・仲元寺 達也

D1012 (12:15 ~ 12:30) 種々の分析データから求めた特徴量による光半導体電極の電流密度の推定 (中大院理工) ○永井 優也・片山 建二

【第2日 5月23日】

座長 石坂 昌司

D2001 (9:00 ~ 9:15) 電気泳動分離媒体としてのナノエマルジョンの物性解析 (阪大院基礎工) ○岡本 行広・曾我部 俊介

D2002 (9:15 ~ 9:30) 多段階部分的注入アフィニティキャピラリー電気泳動に基づく核酸-低分子化合物間相互作用解析 (阪大院工<sup>1</sup>・JSTさきがけ<sup>2</sup>) 光野 恵理子<sup>1</sup>・遠藤 達郎<sup>1</sup>・久本 秀明<sup>1</sup>・○末吉 健志<sup>1,2</sup>

D2003 (9:30 ~ 9:45) リポソーム界面における物質透過現象の速度論的解析 (立教大理) ○宮部 寛志・稲葉 準汰

D2004 (9:45~10:00) 準弾性レーザー散乱法を用いた樟脳船自己駆動運動の機構解明のための表面張力・対流速度測定 (千葉大院工) ○荒木 道備・野本 知理・Chiari, Luca・藤浪 眞紀

D2005 (10:00~10:15) ラテラルバイアス型二重膜の光散乱測定法の検討 (東北大多元研<sup>1</sup>・東北大院理<sup>2</sup>・東北大電通研<sup>3</sup>) ○曾根 ゆり<sup>1,2</sup>・福山 真央<sup>1</sup>・馬 騰<sup>3</sup>・平野 愛弓<sup>3</sup>・火原 彰秀<sup>1</sup>  
座長 久本 秀明

D2006 (10:30~10:45) マイクロ流体内気液界面への血清アルブミン吸着張力変化の光散乱測定 (東北大多元研<sup>1</sup>・東北大院理<sup>2</sup>) Li Xiaoying<sup>1,2</sup>・曾根 ゆり<sup>1,2</sup>・福山 真央<sup>1,2</sup>・火原 彰秀<sup>1,2</sup>

D2007 (10:45~11:00) ダブルビーム型レーザー捕捉法を用いた気相中における水滴の光マニピュレーション (広島大院先進理工) ○石坂 昌司・田中 悠太

D2008 (11:00~11:15) 蛍光分光表面力装置による固-液界面の定量評価 (東北大学多元物質科学研究所) ○粕谷 素洋

D2009 (11:15~11:30) シード媒介成長法による近赤外蛍光色素内包シリカナノ粒子の合成とタンニン酸による機能化 (和歌山大システム工) ○中原 佳夫・中嶋 幸穂・宮崎 淳・矢嶋 摂子

D2010 (11:30~11:45) シリカ細孔に対するカチオン性ポルフィリン吸着の吸着挙動 (茨城大量子線科学) ○山口 央・石井 亜海

D2011 (11:45~12:00) 界面活性とマイクロポアを利用した微粒子センシング (名大院工<sup>1</sup>・名大未来社会<sup>2</sup>・JST さきがけ<sup>3</sup>・東大院工<sup>4</sup>・九大先導研<sup>5</sup>・九大院工<sup>6</sup>・QST量子生命<sup>7</sup>) 藤野慶子<sup>1</sup>・○嶋田 泰佑<sup>1</sup>・安井 隆雄<sup>1,2,3</sup>・長島 一樹<sup>3,4</sup>・柳田 剛<sup>4,5</sup>・加地 範匡<sup>2,6</sup>・馬場 嘉信<sup>1,2,7</sup>  
座長 山口 央

D2012 (13:30~13:45) 単一細胞MSイメージングのためのマイクロウェルの構築 (九大院工学府<sup>1</sup>・九大院工<sup>2</sup>・阪大院理<sup>3</sup>・阪大理<sup>4</sup>) ○伊藤 駿宏<sup>1</sup>・内藤 豊裕<sup>2</sup>・寺田 光<sup>3</sup>・大塚 洋一<sup>4</sup>・加地 範匡<sup>2</sup>

D2013 (13:45~14:00) ポータブル蛍光偏光測定装置を用いたヒト血清中の抗SARS-CoV-2抗体の検出 (北大院総化<sup>1</sup>・北大院工<sup>2</sup>・東北大多元研<sup>3</sup>・Tianma Japan<sup>4</sup>) ○高橋 和希<sup>1</sup>・西山慶音<sup>1</sup>・福山 真央<sup>3</sup>・粕谷 素洋<sup>3</sup>・真栄城 正寿<sup>2</sup>・石田 晃彦<sup>2</sup>・谷 博文<sup>2</sup>・重村 幸治<sup>4</sup>・火原 彰秀<sup>3</sup>・渡慶次 学<sup>2</sup>

D2014 (14:00~14:15) 細胞外小胞の網羅的捕捉を可能にするナノデバイスの開発 (名大院工<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>・名大未来社会創造機構<sup>3</sup>・阪大産研<sup>4</sup>・量研機構<sup>5</sup>) ○安井 隆雄<sup>1,2,3</sup>・古賀 大尚<sup>4</sup>・馬場 嘉信<sup>1,3,5</sup>

D2015 (14:15~14:30) aifAを用いた単一エクソソームのmiRNAの分析 (阪府大院工<sup>1</sup>・東北大院理<sup>2</sup>・がん研<sup>3</sup>・JST-さきがけ<sup>4</sup>・阪府大NanoSquare研<sup>5</sup>) ○村田 幸作<sup>1</sup>・佐藤 雄介<sup>2</sup>・高橋 暁子<sup>3</sup>・許 岩<sup>1,4,5</sup>  
座長 加地 範匡

D2016 (14:45~15:00) ナノ流路断面における脂質二重膜の形成と測定 (阪府大院工<sup>1</sup>・福井大院医<sup>2</sup>・JST-さきがけ<sup>3</sup>・阪府大NanoSquare研<sup>4</sup>) ○川岸 啓人<sup>1</sup>・老木 成稔<sup>2</sup>・岩本 真幸<sup>2</sup>・許 岩<sup>1,3,4</sup>

D2017 (15:00~15:15) マイクロフロー系での光圧による生物学的ナノ粒子の特異検出 (大阪府大院理<sup>1</sup>・大阪府大LAC-SYS研<sup>2</sup>・大阪府大院工<sup>3</sup>) ○藤原 佳奈<sup>1,2,3</sup>・高木 裕美子<sup>1,2</sup>・田村 守<sup>1,2</sup>・中瀬 生彦<sup>1,2</sup>・床波 志保<sup>2,3</sup>・飯田 琢也<sup>1,2</sup>

D2018 (15:15~15:30) 水性二相マイクロフローとMHD効果によるマイクロチャンネル中の微粒子の輸送制御 (名工大院工<sup>1</sup>・名工大工<sup>2</sup>) ○飯國 良規<sup>1</sup>・新垣 比呂<sup>2</sup>・大谷 肇<sup>1</sup>

D2019 (15:30~15:45) 二方向観察可能なskin-on-a-chipによる抗炎症剤評価 (3): 免疫細胞の遊走評価への応用 (東洋大院理工<sup>1</sup>・立教大院理<sup>2</sup>) 杉本 茉莉花<sup>1,2</sup>・安藤 直子<sup>1</sup>・○佐々木 直樹<sup>1,2</sup>  
座長 梅村 知也

D2020 (16:00~16:15) アルフッソンを用いる排水中ふっ素化合物のFIA (愛知工大<sup>1</sup>・日東精工アナリティック<sup>2</sup>) 鈴木 清佳<sup>1</sup>・時松 愛佳<sup>1</sup>・中西 勇介<sup>1</sup>・大野 慎介<sup>2</sup>・林 則夫<sup>2</sup>・村上 博哉<sup>1</sup>・○手嶋 紀雄<sup>1</sup>

D2021 (16:15~16:30) 色素生成反応に対するFe (III) の接触作用を用いたFIA法の開発 (静岡大教) ○栗原 誠・田中 千晴・工島 岳・石川 諒

D2022 (16:30~16:45) 周波数分割多重化LC-MSの開発とその多重度増大に関する検討 (名工大院工) ○北川 慎也・先田 廉・札谷 実穂・大谷 肇

D2023 (16:45~17:00) 遊離及びエステル型脂肪酸成分を区別して分析できる連続式反応熱分解GC法の開発 (中部大応生) ○石田 康行・大西 祥弘・尾張 優介

## 【 P 会 場 】

### 【第1日 5月22日】

P1001S (13:00~14:00) キリンホールディングスの先端高度分析化学について (KHキリン中央研) ○北田 直也・門田 智之

P1002S (13:00~14:00) NMRによるフッ素含有医薬品の解析手法の紹介 ((株)JEOL RESONANCE) ○吉田 恵一・内海 博明・笹川 拓明

P1003S (13:00~14:00) 旭化成(株)の研究開発における解析技術の役割~データサイエンスを利用した樹脂添加剤のキャラクター化~ (旭化成(株) 坂部 輝御・○半村 和基・夏目 穰・菊間 淳

P1004S (13:00~14:00) フェムト秒レーザーアブレーション-ICP-MSで固体中の微量元素定量を可能にする標準物質の開発 (富士フィルム解析セ<sup>1</sup>・東京大学大学院理学系研究科<sup>2</sup>) ○宮下 陽介<sup>1</sup>・寺尾 祐子<sup>1</sup>・相山 卓郎<sup>1</sup>・平兮 康彦<sup>1</sup>・山下 修司<sup>2</sup>・平田 岳史<sup>2</sup>

P1005S (13:00~14:00) 再生プラスチックの分析および代替材料の評価 (日立ハイテクサイエンス) ○清水 克敏・竹口 裕子・中尾上 歩・下田 瑛太・伊澤 智香・並木 健二・大柿 真毅

P1006S (13:00~14:00) 原子間力顕微鏡 (AFM) を用いた歯科医院向け製品のコミュニケーション拡大業務への貢献 (ライオン研究開発本部) ○橋本 遼太・小野 真一・森垣 篤典・杉山 淳一・柿澤 恭史

P1007S (13:00~14:00) 出光興産の研究開発における分析・解析の役割 (出光興産次世代技術研) ○山口 展史・長町 俊希・小鹿 博道

P1008S (13:00~14:00) 反応熱分解GC/MS法を用いたポリアミド材料の構造解析 (富士フィルム解析セ) ○中 喬介

P1009S (13:00~14:00) 東芝における分析技術開発 (東芝研開セ) ○沖 充浩

P1010S (13:00~14:00) 帝人グループの材料開発を支える解析技術 (帝人) ○菅沼 こと・原 寛

P1011S (13:00～14:00) 産学官公共創型課題解決支援を行うよろず相談「分析NEXT」の活動と事例紹介(九州先端研) ○吉原 大輔・王 胖胖・一丸 恵子・山本 竜広・山田 淳・川畑 明

P1012S (13:00～14:00) 走査型電子顕微鏡を用いたヒト皮膚常在菌観察手法の確立(コーセー) ○竹石 桜子・山下 美香・太田 聖子・鈴木 留佳・畑 毅

### 【 Y 会 場 】

Y1001 (14:15～15:15) 宝石サンゴ骨片中における微量元素の定量(金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>) ○守田 彩<sup>1</sup>・長田 翔吾<sup>1</sup>・藤澤 彰悟<sup>1</sup>・脇田 諒一<sup>1</sup>・眞塩 麻彩実<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>

Y1002 (14:15～15:15) 純水系溶媒を用いた河川水中Gdの化学形態別分析法の開発(関学大理工<sup>1</sup>・理研SPring<sup>8</sup>・産総研計量標準<sup>3</sup>) ○河根 怜央奈<sup>1</sup>・亀本 雄基<sup>1</sup>・岡林 識起<sup>1</sup>・岩井 貴弘<sup>2</sup>・成川 知弘<sup>3</sup>・壺井 基裕<sup>1</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>

Y1003 (14:15～15:15) 島根県奥出雲町の土壌および河川砂から採取した砂鉄の希土類元素パターンの地質依存性(福岡大理工<sup>1</sup>・福岡大<sup>2</sup>・佐大シンクロトロン<sup>3</sup>・千葉大院理<sup>4</sup>・九大理工<sup>5</sup>・九大<sup>6</sup>) ○大久保 いずみ<sup>1</sup>・市川 慎太郎<sup>1</sup>・脇田 久伸<sup>2,3</sup>・沼子 千弥<sup>4</sup>・米津 幸太郎<sup>5</sup>・横山 拓史<sup>6</sup>・栗崎 敏<sup>1</sup>

Y1004 (14:15～15:15) 前橋市粕川町の工場森林共生系におけるホタル類生息水域の水質調査(群馬大院・理工<sup>1</sup>・群大・食健康セ<sup>2</sup>・環境研<sup>3</sup>) ○高橋 由太翔<sup>1</sup>・榎戸 竣祐<sup>1</sup>・手塚 大輔<sup>1</sup>・齋藤 啓輔<sup>1</sup>・吉井 咲夢<sup>3</sup>・板橋 英之<sup>1,2</sup>・樋山 みやび<sup>1,2</sup>

Y1005 (14:15～15:15) ESI-MSを用いた極微量6価クロムの定量法と回収方法の検討(東京海洋大院 海洋科学技術研究科) ○武藤 美生・新谷 歩・田中 美穂

Y1006 (14:15～15:15) ハイドロタルサイトを用水溶液中からのリン吸着法の検討(新潟大院自然<sup>1</sup>・新潟大工<sup>2</sup>) ○長南 絢子<sup>1</sup>・宮本 直人<sup>2</sup>・狩野 直樹<sup>2</sup>

Y1007 (14:15～15:15) 有機金属構造体(MOF-5)の合成及びPb吸着への応用(新潟大院自然<sup>1</sup>・新潟大工<sup>2</sup>) ○松山 大聖<sup>1</sup>・宮本 直人<sup>2</sup>・狩野 直樹<sup>2</sup>

Y1008 (14:15～15:15) 生分解性キレート剤による六価クロム汚染土壌の化学洗浄(金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>) ○笠井 颯仁<sup>1</sup>・原田 康弘<sup>1</sup>・三星 かおり<sup>1</sup>・倪 圣斌<sup>1</sup>・谷本 篤彦<sup>1</sup>・Shafiqur Rahman<sup>1</sup>・眞塩 麻彩実<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>

Y1009 (14:15～15:15) 次亜塩素酸水の調製方法と安定性(神奈川大理) ○峯野 将希・西本 右子

Y1010 (14:15～15:15) 講演中止

Y1011 (14:15～15:15) 講演中止

Y1012 (14:15～15:15) 高分子凝集剤及びDTC修飾セルロース誘導体を用いたAsIIIの分離除去(金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>) ○武隈 基浩<sup>1</sup>・湯之下 航季<sup>1</sup>・中窪 圭佑<sup>1</sup>・Foni B. Biswas<sup>1</sup>・眞塩 麻彩実<sup>2</sup>・谷口 剛史<sup>2</sup>・西村 達也<sup>2</sup>・前田 勝浩<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>

Y1013 (14:15～15:15) 徳島大学で採取した大気エアロゾル中の微量金属元素(徳島大学大学院総合科学教育部<sup>1</sup>・徳島大学理工学部<sup>2</sup>・徳島大学大学院社会産業理工学研究部<sup>3</sup>) ○豊澤 大夢<sup>1</sup>・岡 健太郎<sup>2</sup>・山本 祐平<sup>3</sup>・今井 昭二<sup>3</sup>

Y1014 (14:15～15:15) 産業廃棄物を用いた再生砕石からの有害物質の溶出抑制(山形大院理工<sup>1</sup>・山形大工<sup>2</sup>) ○氏家 陸登<sup>1</sup>・千徳 淳貴<sup>1</sup>・佐々木 貴史<sup>2</sup>・遠藤 昌敏<sup>1</sup>

Y1015 (14:15～15:15) 酸性河川中に溶存するアルミニウムおよび腐食物質が水質に及ぼす影響(山形大院理工<sup>1</sup>・山形大工<sup>2</sup>) ○吉田 拓人<sup>1</sup>・小松 智也<sup>2</sup>・鈴木 慶継<sup>1</sup>・佐々木 貴史<sup>2</sup>・遠藤 昌敏<sup>1</sup>

Y1016 (14:15～15:15) 海洋大型藻類のヒ素化学種変換作用に及ぼす鉄ブランクの影響(金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>・日本製鉄<sup>3</sup>) ○加藤 祐介<sup>1</sup>・藤澤 彰悟<sup>1</sup>・林 周平<sup>1</sup>・Okviyoandra Akhyar<sup>1</sup>・眞塩 麻彩実<sup>2</sup>・小杉 知佳<sup>3</sup>・三木 理<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>

Y1017 (14:15～15:15) ネオジム磁石中のネオジムとジスプロシウムとの分離・回収のための溶存形態(東京海洋大院 海洋科学技術研究科) ○尾崎 智美・小川 祥平・田中 美穂

Y1018 (14:15～15:15) ESI-MSによるMoとWのポリ酸のpH変化が与える化学種の変化(東京海洋大院 海洋科学技術研究科) ○大須賀 優里・田中 美穂

Y1019 (14:15～15:15) シリカ系無機塗料の固化に対する過熱水蒸気加熱法の適用(山形大院理工<sup>1</sup>・山形大工<sup>2</sup>) ○佐々木 勇毅<sup>1</sup>・佐々木 貴史<sup>2</sup>・遠藤 昌敏<sup>1</sup>

Y1020 (14:15～15:15) メカノクロミック材料における圧力応答の定量的測定法(都産技研<sup>1</sup>・名大院工<sup>2</sup>・名大未来社会<sup>3</sup>) ○小汲 佳祐<sup>1,2</sup>・永田 晃基<sup>1</sup>・瀧本 悠貴<sup>1</sup>・三柴 健太郎<sup>1</sup>・松尾 豊<sup>2,3</sup>

Y1021 (14:15～15:15) 糖鎖高分子で賦形化された多孔性金属錯体のガス吸着特性(北大院環境科学<sup>1</sup>・北大地球環境科学<sup>2</sup>) ○谷本 憂太郎<sup>1</sup>・野呂 真一郎<sup>1,2</sup>

Y1022 (14:15～15:15) リオトロピック液晶の相転移及び水の状態に対するアミノ酸添加の影響(神奈川大理<sup>1</sup>・(株)ウテナ<sup>2</sup>) ○左古 有美香<sup>1</sup>・影島 一己<sup>2</sup>・西本 右子<sup>1</sup>

Y1023 (14:15～15:15) 金属担持法によるリグニンからグラフェン様カーボンの生成経路の最適化(高知大院理工<sup>1</sup>・群馬大院理工<sup>2</sup>) ○生田 雄己<sup>1</sup>・森 みかる<sup>1</sup>・久安 駿弘磨<sup>1</sup>・石井 孝文<sup>2</sup>・尾崎 純一<sup>2</sup>・森 勝伸<sup>1</sup>

Y1024 (14:15～15:15) 熱分解GC/MSおよび高分解能MALDI-MSによるクチナシ青色素の分子構造解析(名工大院工<sup>1</sup>・中部大応生<sup>2</sup>・三栄源エフ・エフ・アイ<sup>3</sup>) ○本多 亘<sup>1</sup>・大谷 肇<sup>1</sup>・榊原 みなみ<sup>2</sup>・寺澤 陸<sup>2</sup>・石田 康行<sup>2</sup>・堤内 要<sup>2</sup>・西野 雅之<sup>3</sup>・西山 浩司<sup>3</sup>・五百磐 稔<sup>3</sup>・石橋 諒<sup>3</sup>

Y1025 (14:15～15:15) 植物種子およびマウス糞便中のポリアミン抽出方法の検討(千葉工大院先進工<sup>1</sup>・千葉工大先進工<sup>2</sup>) ○佐藤 佑真<sup>1</sup>・笠原 希<sup>2</sup>・坂本 泰一<sup>2</sup>・南澤 磨優寛<sup>2</sup>

Y1026 (14:15～15:15) 微量元素組成と安定同位体比によるアジア米の産地判別(東電大院工<sup>1</sup>・東電大工<sup>2</sup>・農研機構<sup>3</sup>) ○渡辺 光<sup>1</sup>・保倉 明子<sup>2</sup>・鈴木 彌生子<sup>3</sup>

Y1027 (14:15～15:15) 発酵食品に含まれる生理活性ジペプチドの探索と分析系の構築(東北大院薬) ○大野 瑳倭香・幡川 祐資・李 宣和・大江 知行

Y1028 (14:15～15:15) アミノ酸変異によるエクソソーム検出ペプチドプローブの機能改良(東北大院理) ○大塚 靖正・桑原 和貴・佐藤 雄介・西澤 精一

Y1029 (14:15～15:15) ヒアルロン酸結合性ペプチドを用いた蛍光プローブの合成と機能評価(東北大院理) ○白木 悠大・佐藤 雄介・西澤 精一

- Y1030 (14:15 ~ 15:15) バブル模倣型ダメージフリー光濃縮による有用細菌の機能分析への展開 (阪府大院理<sup>1</sup>・阪府大LAC-SYS研<sup>2</sup>・阪府大院工<sup>3</sup>) ○林 康太<sup>1,2,3</sup>・田村 守<sup>1,2</sup>・床波 志保<sup>2,3</sup>・飯田 琢也<sup>1,2</sup>
- Y1031 (14:15 ~ 15:15) フローサイトメトリーに適した励起波長を有する蛍光性基質を用いた酵素増感による抗原検出 (九大シス生<sup>1</sup>・同仁化学<sup>2</sup>) ○立石 宙也<sup>1</sup>・榊井 美咲<sup>1</sup>・小野 啓一郎<sup>1</sup>・野口 克也<sup>2</sup>・下村 隆<sup>2</sup>・大内 雄也<sup>2</sup>・石山 宗孝<sup>2</sup>・志賀 匡宣<sup>2</sup>・上野 右一郎<sup>2</sup>・岸村 顕広<sup>1</sup>・森 健<sup>1</sup>・片山 佳樹<sup>1</sup>
- Y1032 (14:15 ~ 15:15) エクソソーム解析を指向した蛍光性ペプチドプローブの機能改良: シアニン色素へのアルキル鎖導入効果 (東北大学院理学研究科) ○大平 魁人・桑原 和貴・佐藤 雄介・西澤 精一
- Y1033 (14:15 ~ 15:15) 核酸/ペプチドダブルアプタマーによるボルタメトリーのサイトセンシング (前橋工科大工<sup>1</sup>・富山大院理工(理)<sup>2</sup>) ○竹林 健太<sup>1</sup>・小平 景人<sup>1</sup>・石崎 空<sup>1</sup>・倉光 英樹<sup>2</sup>・門屋 利彦<sup>1</sup>・菅原 一晴<sup>1</sup>
- Y1034 (14:15 ~ 15:15) エクソソーム検出を指向した両親媒性 $\alpha$ -helix型蛍光ペプチドプローブの開発とマーカーフリー解析への展開 (東北大院理) ○桑原 和貴・最上 絢太・佐藤 雄介・西澤 精一
- Y1035 (14:15 ~ 15:15) LC/MSによる毛髪ケラチンの化学修飾解析法の開発 (東北大院薬) ○保栖 大暉・幡川 祐資・李 宣和・大江 知行
- Y1036 (14:15 ~ 15:15) 温度応答性スピナラムを用いた血清試料の除タンパク法の検討 (慶應大薬) ○井上 正和・石澤 佑太・長瀬 健一・金澤 秀子
- Y1037 (14:15 ~ 15:15) 細胞移植効率化を目的とした細胞増殖因子徐放ナノ粒子の開発 (慶大薬<sup>1</sup>・千葉大院工<sup>2</sup>) ○永岡 真凜<sup>1</sup>・中野 雄斗<sup>1</sup>・山田 創太<sup>1</sup>・鶴頭 理恵<sup>2</sup>・長瀬 健一<sup>1</sup>・金澤 秀子<sup>1</sup>
- Y1038 (14:15 ~ 15:15) 肝細胞認識高分子と温度応答性高分子による肝細胞分離法の開発 (慶大院薬<sup>1</sup>・国際科学振興財団<sup>2</sup>) ○小島 直人<sup>1</sup>・長瀬 健一<sup>1</sup>・後藤 光昭<sup>2</sup>・赤池 敏宏<sup>2</sup>・金澤 秀子<sup>1</sup>
- Y1039 (14:15 ~ 15:15) 有機分子触媒を利用した医薬品の電気化学検出 (東北医薬大) ○杉山 恭子・熊野 征行・佐藤 勝彦・藤村 務
- Y1040 (15:30 ~ 16:30) 電気透析とフィードバック制御によるリニアpHグラジエントジェネレータのクロマトグラフィーへの応用 (熊本大院自然<sup>1</sup>・熊本大院先端<sup>2</sup>) ○小畑 翔平<sup>1</sup>・Bhakti Dwi Yoga<sup>1</sup>・大平 慎一<sup>2</sup>・戸田 敬<sup>2</sup>
- Y1041 (15:30 ~ 16:30) ランダムな方向性を有する酸化亜鉛ナノワイヤプレートの創製と薄層クロマトグラフィーにおける展開速度の改善 (東薬大生命<sup>1</sup>・名大院工<sup>2</sup>) ○渡邊 未峰<sup>1</sup>・石田 千晶<sup>1</sup>・近藤 啓太<sup>1</sup>・青木 元秀<sup>1</sup>・熊田 英峰<sup>1</sup>・内田 達也<sup>1</sup>・嶋田 泰佑<sup>2</sup>・安井 隆雄<sup>2</sup>・梅村 知也<sup>1</sup>
- Y1042 (15:30 ~ 16:30) GC-MS測定にむけた代謝関連低分子量有機酸のベンジルエステル誘導体化反応の最適化 (東薬大院生命) ○洪田 陽子・熊田 英峰・梅村 知也
- Y1043 (15:30 ~ 16:30) リドカインの選択検出を指向した分子インプリントポリマーの合成と評価 (信州大理) ○松田 和真・中澤 朝之・巽 広輔・金 継業・高橋 史樹
- Y1044 (15:30 ~ 16:30) グラジエント溶離による非水系キャピラリー電気泳動の高性能化 (弘前大理工) ○荒木 滉太・糠塚 いそし・北川 文彦
- Y1045 (15:30 ~ 16:30) 低分子標的アプタマー選抜のためのキャピラリー分子ふるい電気泳動 (阪府大院工<sup>1</sup>・JSTさきがけ<sup>2</sup>) ○和田 将英<sup>1</sup>・遠藤 達郎<sup>1</sup>・久本 秀明<sup>1</sup>・末吉 健志<sup>1,2</sup>
- Y1046 (15:30 ~ 16:30) ミクロスケール電気泳動フィルタリングによる高効率アプタマー選抜法の開発 (阪府大工<sup>1</sup>・阪府大院工<sup>2</sup>・JSTさきがけ<sup>3</sup>) ○上野 楓<sup>1</sup>・高尾 隼空<sup>2</sup>・飛田 安梨沙<sup>2</sup>・遠藤 達郎<sup>2</sup>・久本 秀明<sup>2</sup>・末吉 健志<sup>2,3</sup>
- Y1047 (15:30 ~ 16:30) ホロ/Aポ変換二次元尿素-PAGEによるヒト血清中トランスフェリンのスペシエーション (埼玉大院理工) ○大野 萌衣・石川 順子・半田 友衣子・齋藤 伸吾
- Y1048 (15:30 ~ 16:30) キャピラリー電気泳動法を用いたリソソーム界面における物質透過現象のモーメント解析 (立教大学) 宮部 寛志・稲葉 隼汰
- Y1049 (15:30 ~ 16:30) アミノカルボン酸型樹脂を用いる固相抽出におけるコンディショニングの必要性 (富山大院理工(工)) ○木村 泰我・横田 優貴・井上 嘉則・源明 誠・加賀谷 重浩
- Y1050 (15:30 ~ 16:30) 分散微粒子抽出法 (6) —ジフェニルカルバジド呈色法とイオン対固相抽出を利用するCr (VI) の高感度な簡易比色分析法の開発— (富山大学院理工(理)<sup>1</sup>・明治大理工<sup>2</sup>) ○小濱 望<sup>1</sup>・岡崎 琢也<sup>2</sup>・佐澤 和人<sup>1</sup>・波多 宣子<sup>1</sup>・倉光 英樹<sup>1</sup>・田口 茂<sup>1</sup>
- Y1051 (15:30 ~ 16:30) キノリニル基を導入したベンゼンジアミドの物性およびアミノ酸に対する識別能評価 (阪工大工) 森内 隆代・岡田 拓郎・藤森 啓一
- Y1052 (15:30 ~ 16:30) ジピコリルアミン修飾シクロデキストリンナノゲルの細菌認識機能評価 (上智大理工) ○提箸 弘大・小松崎 舞佳・橋本 剛・早下 隆士
- Y1053 (15:30 ~ 16:30) ジピコリルアミン/ dendroliマー複合型プローブの設計と細菌識別 (上智大理工) ○眞仁田 晃一・与安 明日香・橋本 剛・早下 隆士
- Y1054 (15:30 ~ 16:30) 含ホウ素CTGとAlizarinからなる会合体を用いた認識能評価 (阪工大工) ○山森 健司・森内 隆代・藤森 啓一
- Y1055 (15:30 ~ 16:30) RNA高次構造を認識するフェニルボロン酸修飾スクアリリウム色素 (埼玉大院理工<sup>1</sup>・大阪府立大院工<sup>2</sup>) ○佐々木 佑真<sup>1</sup>・半田 友衣子<sup>1</sup>・前田 壮志<sup>2</sup>・齋藤 伸吾<sup>1</sup>
- Y1056 (15:30 ~ 16:30) フェニルボロン酸型蛍光プローブ導入ベシクルの糖認識における置換基効果の評価 (上智大院理工) ○早川 明寛・遠藤 美和・海老沢 優・橋本 剛・早下 隆士
- Y1057 (15:30 ~ 16:30) ルテニウム錯体/シクロデキストリン複合体修飾金ナノ粒子による糖の電気化学的検出 (上智大理工) ○篠野 裕通・吉澤 賢太郎・Maria Antonietta Casulli・橋本 剛・早下 隆士
- Y1058 (15:30 ~ 16:30) アントラセン型糖認識蛍光プローブの構造効果 (上智大理工) ○平原 裕也・橋本 剛・早下 隆士
- Y1059 (15:30 ~ 16:30) ジピコリルアミン型アゾプローブ/シクロデキストリン複合体の設計と応答機能評価 (上智大理工) ○芦埜 知岳・石川 俊・橋本 剛・早下 隆士

- Y1060 (15:30 ~ 16:30) ( $\beta$ -ジケトナト) ルテニウム錯体/修飾シクロデキストリン包接複合体による電気化学的リン酸誘導体認識 (上智大理工) ○中条 瞳・Maria Antonietta Casulli・橋本 剛・早下 隆士
- Y1061 (15:30 ~ 16:30) 新規架橋剤を用いた超微細シクロデキストリンナノゲルの設計と包接機能評価 (上智大理工) ○樫平 篤伶・竹内 聡弥・橋本 剛・早下 隆士
- Y1062 (15:30 ~ 16:30) ジピコリルアミン型蛍光プローブ/ポロン酸修飾シクロデキストリン複合体によるリン酸誘導体応答機能評価 (上智大学) ○益子 征景・芦埜 知岳・海老沢 優・橋本 剛・早下 隆士
- Y1063 (15:30 ~ 16:30) ピリジニウムポロン酸修飾デンドリマーの設計と細菌識別機能 (上智大理工<sup>1</sup>・早大理工<sup>2</sup>) ○高橋 洋太郎<sup>1</sup>・眞仁田 晃一<sup>1</sup>・与安 明日香<sup>1</sup>・鈴木 陽太<sup>2</sup>・橋本 剛<sup>1</sup>・早下 隆士<sup>1</sup>
- Y1064 (15:30 ~ 16:30) ポロン酸修飾シクロデキストリンナノゲルの界面電荷制御と細菌識別機能 (上智大理工) ○岩井 祐樹・提箸 弘大・橋本 剛・早下 隆士
- Y1065 (15:30 ~ 16:30) ポロン酸型フェロセンプローブ/シクロデキストリン複合体によるリン酸誘導体認識 (上智大理工) ○吉田 和彦・Maria, Cassuli・橋本 剛・早下 隆士
- Y1066 (15:30 ~ 16:30) フェニル基を持つ ( $\beta$ -ジケトナト) ルテニウム錯体の合成とそのシクロデキストリン包接機能評価 (上智大理工) ○田頭 一穂・篠野 裕通・橋本 剛・早下 隆士
- Y1067 (15:30 ~ 16:30) 金属イオンを担持した造粒ゼオライトの吸着及び触媒能に関する研究 (山形大院理工<sup>1</sup>・山形大工<sup>2</sup>) ○高橋 由輝<sup>1</sup>・佐々木 貴史<sup>2</sup>・遠藤 昌敏<sup>1</sup>
- Y1068 (15:30 ~ 16:30) 分子柔軟性を有するケトエステル溶媒を用いた超濃厚LiFSA電解液中におけるイオン秩序構造形成 (山口大院創成<sup>1</sup>・横浜国大院<sup>2</sup>) ○江原 寧々<sup>1</sup>・上野 和英<sup>2</sup>・藤井 健太<sup>1</sup>
- Y1069 (15:30 ~ 16:30) フッ素化アセテート溶媒を用いた超濃厚電解液の精密溶液構造解析と電気化学的特性 (山口大院創成<sup>1</sup>・東ソーファインケム<sup>2</sup>) ○越智 梨瑚<sup>1</sup>・三村 英之<sup>2</sup>・藤井 健太<sup>1</sup>
- Y1070 (15:30 ~ 16:30) 超均一高分子網目を基盤とする高性能固体電解質の開発と物性・構造解析 (山口大院創成) ○池田 奈美恵・藤井 健太
- Y1071 (15:30 ~ 16:30) マイクロ波を用いた金属回収法に関する研究 (山形大院理工<sup>1</sup>・山形大工<sup>2</sup>) ○倉本 耀<sup>1</sup>・佐々木 貴史<sup>2</sup>・遠藤 昌敏<sup>1</sup>
- Y1072 (15:30 ~ 16:30) アルコール修飾気液界面分離場を用いたローダミンBの迅速分離 (北見工大) ○児玉 康輝・大岩 真子・齋藤 徹
- Y1073 (15:30 ~ 16:30) 分子クラウディング環境下におけるオキシン錯形成反応の評価 (筑波大理工<sup>1</sup>・筑波大数理物質<sup>2</sup>) ○小松 弘幸<sup>1</sup>・宮川 晃尚<sup>2</sup>・長友 重紀<sup>2</sup>・中谷 清治<sup>2</sup>
- Y1074 (15:30 ~ 16:30) 非ポロン型溶媒和モデルによるイオン性界面活性剤の油水界面吸着の理論的予測 (神戸大院理) ○山内 厚毅・枝 和男・大塚 利行
- Y1075 (15:30 ~ 16:30) 凍結電解質水溶液のpH特性 (東工大理学院) ○片岡 駿・原田 誠・岡田 哲男
- Y1076 (15:30 ~ 16:30) 超音波放射力によるDNA二重鎖の解離を利用した微量計測 (筑波大理工<sup>1</sup>・筑波大数理物質<sup>2</sup>) ○押山 健悟<sup>1</sup>・宮川 晃尚<sup>2</sup>・長友 重紀<sup>2</sup>・中谷 清治<sup>2</sup>
- Y1077 (16:45 ~ 17:45) HPLC-ICP-MSを用いた頭髮中臭素及び臭素化合物のスペシエーション分析手法の開発 (関学大理工<sup>1</sup>・理研SPring-8セ<sup>2</sup>) ○上岡 涼太<sup>1</sup>・岡林 識起<sup>1</sup>・岩井 貴弘<sup>2</sup>・瀬戸 康雄<sup>2</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>
- Y1078 (16:45 ~ 17:45) HPLC-ICP-MSによる河川水中Gd錯体 (MRI造影剤) の溶存挙動の解析 (関学大理工<sup>1</sup>・理研SPring-8セ<sup>2</sup>・産総研計量標準<sup>3</sup>) ○亀本 雄基<sup>1</sup>・河根 怜央奈<sup>1</sup>・岡林 識起<sup>1</sup>・岩井 貴弘<sup>2</sup>・成川 知弘<sup>3</sup>・壺井 基裕<sup>1</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>
- Y1079 (16:45 ~ 17:45) 三元錯体形成を利用したフッ化物イオンの高感度定量法の開発 (神戸大海事科学<sup>1</sup>・神戸大院海事科学<sup>2</sup>・神戸大院海事科学国際海事研究セ<sup>3</sup>) ○谷嵐 正之<sup>1</sup>・堀田 弘樹<sup>1,2,3</sup>・松本 健嗣<sup>2</sup>・福土 恵一<sup>3</sup>・角田 欣一<sup>3</sup>
- Y1080 (16:45 ~ 17:45) ETV-誘電体バリア放電発光分析法 (DBD-OES) による頭髮中臭素の化学形態別分析手法の開発 (関学大理工<sup>1</sup>・理研SPring-8<sup>2</sup>) ○加藤 雅子<sup>1</sup>・岡林 識起<sup>1</sup>・岩井 貴弘<sup>2</sup>・瀬戸 康雄<sup>2</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>
- Y1081 (16:45 ~ 17:45) Development of Simultaneous Speciation Method of Mercury, Arsenic, and Selenium using HPLC-ICPMS (関学大理工<sup>1</sup>・産総研計量標準<sup>2</sup>) ○シトンプル ウリベニヤミン<sup>1</sup>・一瀬 陸<sup>1</sup>・岡林 識起<sup>1</sup>・壺井 基裕<sup>1</sup>・成川 知弘<sup>2</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>
- Y1082 (16:45 ~ 17:45) 誘導結合プラズマ-飛行時間型質量分析計 (ICP-TOF-MS) を用いた微粒子の高速化学分析 (東大院理<sup>1</sup>・九環協<sup>2</sup>・原子力機構<sup>3</sup>・原子力規制庁<sup>4</sup>) ○堀越 洗<sup>1</sup>・沼倫加<sup>1</sup>・田籠 久也<sup>2</sup>・伊藤 聡美<sup>3</sup>・高橋 宏明<sup>4</sup>・平田 岳史<sup>1</sup>
- Y1083 (16:45 ~ 17:45) O-スルホフェニルフルオロンとピスマス (V) を用いるトランスフェリンの吸光光度定量法について (阪薬大・薬<sup>1</sup>・信愛女学院<sup>2</sup>) ○佐川 実唯<sup>1</sup>・藤田 芳一<sup>1,2</sup>・福森 亮雄<sup>1</sup>・山口 敬子<sup>1</sup>
- Y1084 (16:45 ~ 17:45) 7-(diethylaminocoumarin4-(yl) methyl caged D-luciferin) の合成および吸収・蛍光スペクトル測定 (群馬大院理工学府<sup>1</sup>・群馬大学院食健康セ<sup>2</sup>) ○崎元 柀<sup>1</sup>・熊谷 遼<sup>1</sup>・菅野 研一郎<sup>1</sup>・板橋 英之<sup>1,2</sup>・樋山 みやび<sup>1,2</sup>
- Y1085 (16:45 ~ 17:45) 減衰全反射遠紫外 (ATR-FUV) 分光法を用いたスクロースの電子状態研究 (近大院総合理工<sup>1</sup>・近大理工<sup>2</sup>) ○佐々木 亮輔<sup>1</sup>・菊池 真由<sup>2</sup>・森澤 勇介<sup>1,2</sup>
- Y1086 (16:45 ~ 17:45) 次亜塩素酸共存下における無機窒素化合物の定量 (山形大院理工<sup>1</sup>・山形大工<sup>2</sup>) ○石山 真帆<sup>1</sup>・関口 理希<sup>1</sup>・佐々木 貴史<sup>2</sup>・遠藤 昌敏<sup>1</sup>
- Y1087 (16:45 ~ 17:45) 単細胞藻類に蓄積されたテルルの定量および化学形態分析 (東京電機大<sup>1</sup>・東京電機大院<sup>2</sup>・産総研<sup>3</sup>) ○稲葉 健介<sup>1</sup>・保倉 明子<sup>1</sup>・阿部 善也<sup>2</sup>・熊谷 和博<sup>3</sup>
- Y1088 (16:45 ~ 17:45) 二次ターゲットを用いた元素識別型X線吸収イメージングの基礎検討 (阪市大工<sup>1</sup>・阪市大院工<sup>2</sup>・JAEA<sup>3</sup>) ○中江 理紀<sup>1</sup>・松山 嗣史<sup>2</sup>・村上 昌史<sup>3</sup>・吉田 幸彦<sup>3</sup>・植田 昭彦<sup>3</sup>・町田 昌彦<sup>3</sup>・佐々木 紀樹<sup>3</sup>・辻 幸一<sup>2</sup>
- Y1089 (16:45 ~ 17:45) 移動物体の蛍光X線イメージングシステムの開発研究 (阪市大工<sup>1</sup>・阪市大院工<sup>2</sup>・JAEA<sup>3</sup>) ○淵田 知希<sup>1</sup>・松山 嗣史<sup>2</sup>・村上 昌史<sup>3</sup>・吉田 幸彦<sup>3</sup>・植田 昭彦<sup>3</sup>・町田 昌彦<sup>3</sup>・佐々木 紀樹<sup>3</sup>・辻 幸一<sup>2</sup>



- Y1090 (16:45 ~ 17:45) 大気圧プラズマジェットによる石英ガラス表面の超親水性処理と全反射蛍光X線分析への応用 (阪市大工<sup>1</sup>・阪市大院工<sup>2</sup>) ○田中 悠大<sup>1</sup>・松山 嗣史<sup>2</sup>・呉 準席<sup>2</sup>・辻 幸一<sup>2</sup>
- Y1091 (16:45 ~ 17:45) 重金属トランスポーター過剰発現イネにおけるカドミウムと亜鉛の蓄積挙動 (東京電機大 工<sup>1</sup>・東京理科大 基礎工<sup>2</sup>) ○丸山 侑造<sup>1</sup>・保倉 明子<sup>1</sup>・寺村 浩<sup>2</sup>・島田 浩章<sup>2</sup>
- Y1092 (16:45 ~ 17:45) 蛍光X線分析によるメイクアップ化粧品中微量元素定量法の開発 (東京電機大院工<sup>1</sup>・東京電機大工<sup>2</sup>・産総研<sup>3</sup>・神戸工業試験場<sup>4</sup>) ○村上 志帆<sup>1</sup>・保倉 明子<sup>2</sup>・津越 敬寿<sup>3</sup>・三島 有二<sup>4</sup>
- Y1093 (16:45 ~ 17:45) X線回折法による阿玉台式土器に含まれる混和材の起源推定法の検討 (福岡大理) ○田中 ひなの<sup>1</sup>・市川 慎太郎<sup>1</sup>・栗崎 敏
- Y1094 (16:45 ~ 17:45) 二次電池正極の不均一な反応分布に関するイメージングXAFS法による定量化 (立命館大生命<sup>1</sup>・立命館大SRセンター<sup>2</sup>) ○西川 琢斗<sup>1</sup>・片山 真祥<sup>2</sup>・折笠 有基<sup>1</sup>・稲田 康宏<sup>1,2</sup>
- Y1095 (16:45 ~ 17:45) XPSを用いたイオン液体界面における金属イオンの特性評価 (福岡大理<sup>1</sup>・山口大工<sup>2</sup>) ○笠岡 裕真<sup>1</sup>・市川 慎太郎<sup>1</sup>・喜多條 鮎子<sup>2</sup>・栗崎 敏<sup>1</sup>
- Y1096 (16:45 ~ 17:45) モエジマシダにおけるセレンの化学形態分析 (東京電機大工応用化学<sup>1</sup>・東京電機大院工<sup>2</sup>) ○湯澤 章太<sup>1</sup>・南部 晃一<sup>1</sup>・阿部 善也<sup>2</sup>・保倉 明子<sup>1</sup>
- Y1097 (16:45 ~ 17:45) 明治大学生田キャンパスにおける事故後 10 年間の土壤中放射性セシウム濃度の経年変化 (明治大院理工<sup>1</sup>・明治大理工<sup>2</sup>) ○齋藤 凜太郎<sup>1</sup>・谷本 真宏<sup>2</sup>・猪瀬 聡史<sup>2</sup>・小池 裕也<sup>2</sup>
- Y1098 (16:45 ~ 17:45) ルミノールの電気化学発光反応における界面活性剤の影響 (信州大院理工<sup>1</sup>・信州大理<sup>2</sup>) ○QIRAN ZHANG<sup>1</sup>・西尾 育真<sup>1</sup>・岡田 正大<sup>2</sup>・高橋 史樹<sup>2</sup>・金 継業<sup>2</sup>
- Y1099 (16:45 ~ 17:45) 電気化学発光による細胞スフェロイドの呼吸活性測定 (東北大院環境<sup>1</sup>・東北大院工<sup>2</sup>・東北大学際研<sup>3</sup>) ○平本 薫<sup>1</sup>・伊野 浩介<sup>2</sup>・小松 慶佳<sup>1</sup>・梨本 裕司<sup>2,3</sup>・珠玖 仁<sup>2</sup>
- Y1100 (16:45 ~ 17:45) フロー電解セルを用いた銅-64とニッケル-64の分離 (高知大学院理工<sup>1</sup>・熊本大学大学院先端科学研究部 (熊大院先端)<sup>2</sup>・量子科学技術研究開発機構・高崎量子応用研究所 (量研高崎)<sup>3</sup>・熊本大学大学院自然科学教育部 (熊大院自然)<sup>4</sup>) ○真鍋 日那子<sup>1</sup>・丸山 洋平<sup>1</sup>・須郷 由美<sup>3</sup>・大平 慎一<sup>2</sup>・小崎 大輔<sup>1</sup>・宮地 凌摩<sup>4</sup>・小畑 翔平<sup>4</sup>・岡部 恵<sup>1</sup>・石岡 典子<sup>3</sup>・戸田 敬<sup>2</sup>・森 勝伸<sup>1</sup>
- Y1101 (16:45 ~ 17:45) Development of a fibrous bipolar electrochemical platform using thermal drawing method (東北大院環境科学研究科<sup>1</sup>・東北大院工学研究科<sup>2</sup>・山梨大院総合研究部<sup>3</sup>・EPFL<sup>4</sup>) ○Tomoki Iwama<sup>1</sup>・Yuanyuan Guo<sup>2</sup>・Syoma Handa<sup>2</sup>・Kumi Y. Inoue<sup>3</sup>・Tatsuo Yoshinobu<sup>2</sup>・Fabien Sorin<sup>4</sup>・Hitoshi Shiku<sup>1</sup>
- Y1102 (16:45 ~ 17:45) 酸素存在下で安定な電位を示す導電性高分子インクの開発 (京工織大院工芸科学) ○高見 恵生<sup>1</sup>・日下部 瑛美<sup>1</sup>・前田 耕治<sup>1</sup>・吉田 裕美
- Y1103 (16:45 ~ 17:45) 難溶性銀塩析出のストリッピングボルタンメトリーを用いたヒ素Ⅲ価・Ⅴ価の定量 (京工織大院工芸科学) ○佐々木 佐和<sup>1</sup>・大西 彩由佳<sup>1</sup>・吉田 裕美<sup>1</sup>・前田 耕治
- Y1104 (16:45 ~ 17:45) ニトロセルロース膜上へのたんぱく質吸着の電気化学分析 (長岡技科大) ○関根 陸<sup>1</sup>・近藤 みずき<sup>1</sup>・桑原 敬司
- Y1105 (16:45 ~ 17:45) バイポーラ現象を利用した走査型インピーダンスセンサの構築 (長岡技科大) ○榎木 有理沙<sup>1</sup>・近藤 みずき<sup>1</sup>・桑原 敬司
- Y1106 (16:45 ~ 17:45) Development of a Simple On-site RNA Detection Method on Paper Utilizing Imaging Analysis (IIS, Univ. of Tokyo<sup>1</sup>・LIMMS, Univ. of Tokyo<sup>2</sup>) ○Xiaojun Lyu<sup>1</sup>・Sona Rani Roy<sup>1</sup>・Teruo Fujii<sup>1,2</sup>・Anthony Genot<sup>1,2</sup>・Tsuyoshi Minami<sup>1,2</sup>
- Y1107 (16:45 ~ 17:45) Molecularly Imprinted Polymer for Atropine Detection and Its Application to an Organic Transistor-based Sensor Device (IIS, Univ. of Tokyo) ○Qi Zhou<sup>1</sup>・Tsuyoshi Minami
- Y1108 (16:45 ~ 17:45) FRET機構を利用した超高感度カチオンセンシング用蛍光色素液体薄膜の開発 (阪府大院工) ○西海 豪祐<sup>1</sup>・水田 巽<sup>1</sup>・末吉 健志<sup>1</sup>・遠藤 達郎<sup>1</sup>・久本 秀明
- Y1109 (16:45 ~ 17:45) トリメチルアンモニオ基修飾電極を用いたリグニン由来単環芳香族化合物の電気化学的検出 (長岡技科大学) ○寺牛 鍊<sup>1</sup>・桑原 敬司<sup>1</sup>・近藤 みずき<sup>1</sup>・藤田 雅也<sup>1</sup>・上村 直史<sup>1</sup>・政井 英司
- Y1110 (16:45 ~ 17:45) 電気化学発光を用いたコデインの定量分析法 (信州大理) ○下坂 優貴<sup>1</sup>・松田 和真<sup>1</sup>・巽 広輔<sup>1</sup>・金 継業<sup>1</sup>・高橋 史樹
- Y1111 (16:45 ~ 17:45) 講演中止
- Y1112 (16:45 ~ 17:45) 単一細胞内微量元素分析のための近赤外線脱溶媒ドロプレットICP分析装置の開発 (東工大未来研<sup>1</sup>・東薬大生命<sup>2</sup>) ○柳井 優作<sup>1</sup>・吉田 真己<sup>1</sup>・太田 高志<sup>1</sup>・末永 祐磨<sup>1</sup>・前本 佑樹<sup>2</sup>・青木 元秀<sup>2</sup>・梅村 知也<sup>2</sup>・沖野 晃俊<sup>1</sup>
- Y1113 (16:45 ~ 17:45) 酸化亜鉛ナノワイヤのサイズ制御とSALDI-MSにおける脱離イオン化特性の評価 (東薬大生命<sup>1</sup>・名大院工<sup>2</sup>) ○石田 千晶<sup>1</sup>・渡邊 未峰<sup>1</sup>・近藤 啓太<sup>1</sup>・青木 元秀<sup>1</sup>・熊田 英峰<sup>1</sup>・内田 達也<sup>1</sup>・嶋田 泰佑<sup>2</sup>・安井 隆雄<sup>2</sup>・梅村 知也<sup>1</sup>

## 【 P 会 場 】

### 【第2日 5月23日】

- P2001 (13:00 ~ 14:00) 単一細胞内微量元素分析のための誘導結合プラズマ発光/質量同時分析システム (東工大・未来研<sup>1</sup>・東薬大・生命<sup>2</sup>・理研・SPring-8<sup>3</sup>・関学大・理工<sup>4</sup>) ○太田 高志<sup>1</sup>・吉田 真己<sup>1</sup>・柳井 優作<sup>1</sup>・末永 祐磨<sup>1</sup>・青木 元秀<sup>2</sup>・前本 佑樹<sup>2</sup>・岩井 貴弘<sup>3</sup>・梅村 知也<sup>2</sup>・千葉 光一<sup>4</sup>・沖野 晃俊<sup>1</sup>
- P2002 (13:00 ~ 14:00) spICP-MSによる有機溶媒中のナノ粒子分析～ Audio-Frequency Noiseの観測と固相抽出を用いた改善～ (京セラ) ○山下 真弘<sup>1</sup>・中西 将太<sup>1</sup>・関 広美
- P2003 (13:00 ~ 14:00) ICP-OESおよび原子吸光光度計を用いた肥料中の金属元素分析 (日立ハイテクサイエンス) ○夏井 克巳<sup>1</sup>・添田 直希<sup>1</sup>・美川 真奈<sup>1</sup>・白崎 俊浩<sup>1</sup>・坂元 秀之

- P2004 (13:00～14:00) LA-ICP-MSによる半導体材料中の不純物分析 (東レリサーチセンター) ○土田 英央・林 紘正・坂口 晃一・佐藤 信之
- P2005 (13:00～14:00) GED-ICP-MSを用いる大気中PM2.5に含まれる金属元素のリアルタイム測定結果の新たな定量方法の検討 (京大院工学科) ○西口 講平・米田 稔
- P2006 (13:00～14:00) 共焦点蛍光X線分析法を用いた劣化ポリエチレン材料の深さ方向分析 (阪市大院工<sup>1</sup>・阪市大工<sup>2</sup>・KRI<sup>3</sup>) ○松山 嗣史<sup>1</sup>・淵田 知希<sup>2</sup>・瀧本 雄毅<sup>3</sup>・本間 秀和<sup>3</sup>・辻 幸一<sup>1</sup>
- P2007 (13:00～14:00) 粉末X線回折の試料作製方法と回折図形の関係 (リガク<sup>1</sup>・明治大<sup>2</sup>) ○葛巻 貴大<sup>1</sup>・小澤 哲也<sup>1</sup>・笠利 実希<sup>1</sup>・大淵 敦司<sup>1</sup>・中村 利廣<sup>1,2</sup>
- P2008 (13:00～14:00) 燃焼フラスコ法を用いたカーボンナノチューブ中の微量金属分析 (大阪技術研) ○森 隆志・中島 陽一
- P2009 (13:00～14:00) ESI-MSを用いたニトロベンゼン中の1, 10-phenanthrolineの多量体化 (東京海洋大学大学院) 小田 恭平・○田中 美穂
- P2010 (13:00～14:00) オールインジェクション法を用いた群馬県安中市堆積土壌中の重金属汚染調査 (群馬大理工学府) ○祖 寧・高 迪・小見 このみ・山城 花帆・和田 信彦・樋山 みやび・板橋 英之
- P2011 (13:00～14:00) 電気化学検出超臨界流体クロマトグラフィーによるサプリメント中ビタミンEの定量 (東薬大薬) ○山本 法央・西村 拓真・町田 晃一・小谷 明・袴田 秀樹
- P2012 (13:00～14:00) アミノ酸及びタンパク質の糖化モデル反応によるAGEs生成のLC-MS/MS分析 (就実大薬) 多田 純平・河野 祥之・○片岡 洋行
- P2013 (13:00～14:00) LC-ESI-MS/MSによるステロイド分析におけるキノリン誘導体化法の評価 (東北医薬大薬<sup>1</sup>・横浜薬大薬<sup>2</sup>) ○小松 祥子<sup>1</sup>・藤村 務<sup>1</sup>・山下 幸和<sup>2</sup>
- P2014 (13:00～14:00) 無機陰イオンのモリブデン酸添加移動相を用いた逆相HPLC分離における検出挙動 (富山衛研<sup>1</sup>・東海大理<sup>2</sup>・中部大応生<sup>3</sup>・愛工大工<sup>4</sup>・金沢大環日本海域環境研究セ<sup>5</sup>) ○健名 智子<sup>1</sup>・小玉 修嗣<sup>2</sup>・山本 敦<sup>3</sup>・井上 嘉則<sup>4</sup>・早川 和一<sup>5</sup>
- P2015 (13:00～14:00) 農薬類のLC-ESI-MS/MS分析における検出感度に及ぼすブルームの影響 (CER<sup>1</sup>・埼玉大院理工<sup>2</sup>) ○中野 裕太<sup>1,2</sup>・緒方 伸也<sup>1</sup>・坂牧 寛<sup>1</sup>・齋藤 伸吾<sup>2</sup>
- P2016 (13:00～14:00) 日局残留溶媒試験への漢方処方エキス製剤の適用可否の検討 (クラシエ製薬漢方研) ○塚越 智仁・張 紅燕・高橋 隆二
- P2017 (13:00～14:00) イミダゾリウム型イオン液体へのキレート抽出挙動に及ぼすイオン液体カチオン側鎖長の寄与 (東邦大理) 秋場 優里・山田 佳林・森田 耕太郎・○平山 直紀
- P2018 (13:00～14:00) サリチルヒドラゾン系蛍光アニオンプロブの結晶化による精製と高感度化 (阪教大<sup>1</sup>・大阪技術研(森)<sup>2</sup>) ○久保 埜 公二<sup>1</sup>・安部 太陽<sup>1</sup>・柏木 行康<sup>2</sup>・谷 敬太<sup>1</sup>・横井 邦彦<sup>1</sup>
- P2019 (13:00～14:00) シングルパーティクルICP-MSによる有機溶媒中のナノ粒子分析 (東レリサーチセ) ○酒井 碧・土田 英央・林 紘正・坂口 晃一・佐藤 信之
- P2020 (13:00～14:00) 金ナノ粒子のDNA修飾に対する凍結効果 (東工大理学院) ○小宮 雅貴・岡田 哲男
- P2021 (13:00～14:00) 富山県氷見市の農業集水域小河川における用排水管理の違いが水質の時期的変動に及ぼす影響評価 (富大院理工(理)) ○佐澤 和人・土田 貴史・田口 陸・中島 晃・太田 民久・倉光 英樹
- P2022 (13:00～14:00) 多摩川における放射性セシウムのキャラクタリゼーション (明大院理工<sup>1</sup>・明大理工<sup>2</sup>) ○萩原 健太<sup>1,2</sup>・小池 裕也<sup>2</sup>
- P2023 (13:00～14:00) 試料観察TG-MSによる高分子の分解・燃焼の解析 ((株)リガク<sup>1</sup>・昭和大<sup>2</sup>) ○細井 宜伸<sup>1</sup>・本多 英彦<sup>2</sup>・小林 広和<sup>2</sup>・山本 雅人<sup>2</sup>
- P2024 (13:00～14:00) 3次元グリッド電極デバイスによる一括電気回転を用いた膜タンパク質を発現させた細胞の電気特性評価 (兵庫県大院物質理<sup>1</sup>・パナソニック<sup>2</sup>) ○Fujimoto, Moe<sup>1</sup>・Kawai, Shikho<sup>1,2</sup>・Suzuki, Masato<sup>1</sup>・Yasukawa, Tomoyuki<sup>1</sup>
- P2025 (13:00～14:00) 平城京跡出土の奈良時代須恵器内面に見られた白色付着物の化学分析 (東京医療保健大<sup>1</sup>・日本食品検査<sup>2</sup>・アワズテック<sup>3</sup>・奈良文化財研<sup>4</sup>) ○大道 公秀<sup>1</sup>・橋田 規<sup>2</sup>・椎野 博<sup>3</sup>・清水 文雄<sup>3</sup>・西念 幸江<sup>1</sup>・小田 裕樹<sup>4</sup>・三舟 隆之<sup>1</sup>

## 【 Y 会 場 】

- Y2001H (14:15～15:15) セシウム不溶化鉱物の循環合成とその漏出の有無について (福島県立福島高等学校) ○川村 歩毅・高橋 輝星・大関 葵翔・齋藤 聖
- Y2002H (14:15～15:15) My Favorite Milkを探せ!!～カルシウムが牛乳の味に関与する～ (福島市立吾妻中学校) ○松谷 希歩
- Y2003H (14:15～15:15) 中高校生の学会発表に対する期待と効果-分析化学会東北支部メンバーの取り組みから-(福島大理工<sup>1</sup>・東北大院理<sup>2</sup>・秋田大教文<sup>3</sup>) 大橋 弘範<sup>1</sup>・西澤 精一<sup>2</sup>・○岩田 吉弘<sup>3</sup>